

発電設備の自動制御盤の老舗メーカー

東伸電機株式会社（東京都北区）



無停電電源装置用発電機操作盤



非常動力用自動盤



東伸電機株式会社



川俣平一郎社長

信頼のあかし東伸のロゴマーク

今回は「東伸電機株式会社（川俣平一郎社長、東京都北区志茂5-37-13、☎03-3902-7181）」を取材した。東伸電機は発電設備の制御装置や遠隔監視装置の老舗メーカーである。特に航空用の非常電源の制御盤や、航空関連設備・機器に関しては、東京航空局や大阪航空局をはじめ、国内外の航空施設向けに豊富な納入実績を持っている。

また、発電設備関連の各種設備についても品質が高い評価を得ており、発電設備の吸気口や排気口に取り付ける「換気口用油圧シャッターユニット」は広く販売されている。東伸電機のユニークな製品群や取り組みについて紹介する。

創業の経緯

東伸電機の設立は1965（昭和40）年7月。電機メーカーに勤めていた技術者仲間が共同で会社を立ち上

げた。設立の当初は、主に空港施設において、航空機誘導用の地上無線設備や航空機の監視設備・信号設備向けなどの非常電源となる自家用発電設備の制御装置や関連設備の制御盤などを、本社工場で一貫生産を行っていた。設立以来40年以上にわたり、東伸電機では、装置の製品化の企画から、設計、試作機の開発、製品の製造、営業・販売まで、自社で一貫して実施している。

ユニークな製品群

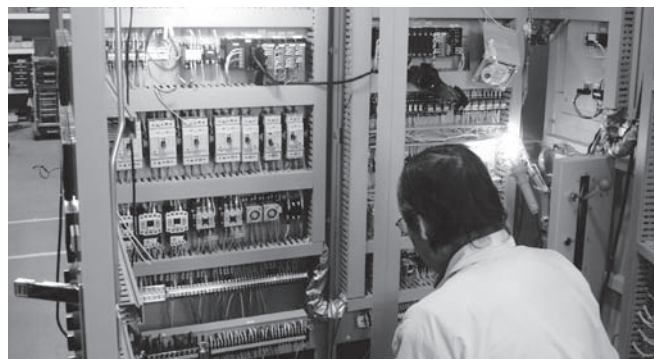
東伸電機的主要な製品としては、当協会の認定品である「非常動力制御盤」や「自動充電装置」がある。

また、「エンジン発電設備自動制御盤」、「空調用装置自動制御盤」、「各種機械系の自動制御盤」、「発電設備制御装置」といった特に制御装置の分野に関しては、幅広い製品ラインアップを取りそろえており、各製品の品質に関しても高い評価と厚い信頼を得ている。

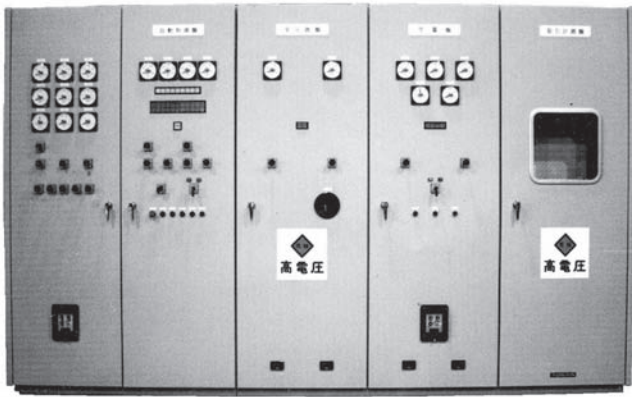
さらに、発電設備の吸気口や排気口に取り付ける



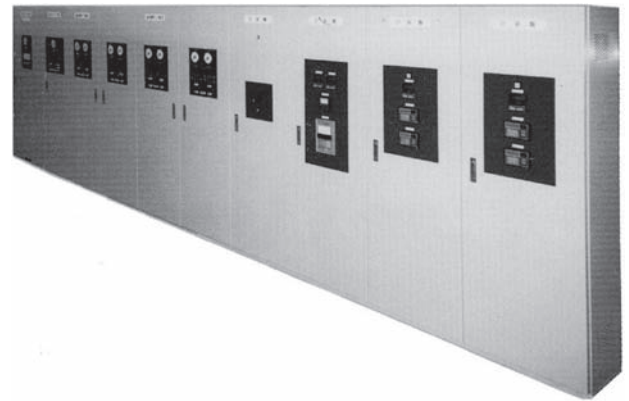
発電機制御盤の組立配線作業



組立配線後の検査作業



高圧受配電発電機自動制御盤



空調用装置自動制御盤

「換気口用油圧シャッターユニット」や、発電設備用のコンパクトな携帯型の「遠隔監視装置Inspect (インスペクト)」を独自に開発するなど、高い製品開発能力を保有している。

油圧シャッターユニットの特徴は、油圧制御・駆動型で、非常電源の設置先において、停電と同時に、油圧ユニットと一体構成となったシャッターの開閉装置が強力に作動し、自動的にシャッターが開く仕組みとなっている。

また、強風、凍結、錆び付きにも強い耐久性を備えた構造となっている。この製品の開発段階の際には、製品化の途中で遭遇したさまざまな技術的課題を克服し、「特許取得」につなげるなど、東伸電機は実に優秀な技術者集団であることを証明している。

一方、発電機の電力計測装置である遠隔監視装置に関しては、常用の自家発電設備などの保守・サービス用に使用されるものであるが、その特徴は「遠隔監視装置やシステムの標準化を図った製品」とした点である。すなわち、さまざまな発電設備メーカーが供給する低圧から高圧まで、あらゆる容量の発電設備にも対応して故障信号の監視や出力信号の計測を行えるよう、標準化したものを開発し、製品化を

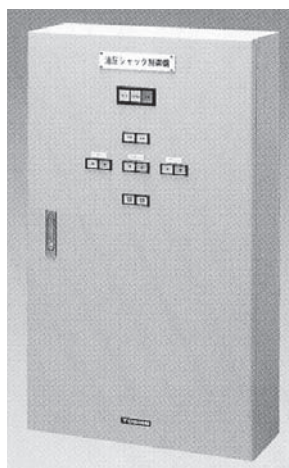
図った点である。

そのほか、製品としては、「高圧・低圧配電盤及び分電盤」、「電子式高精度継電器」、日本消防設備安全センターの認定品である「加圧送水装置等の制御盤」などがある。

販売注力していく製品

今後、東伸電機では、「エンジン発電設備自動制御盤」、「空調用装置自動制御盤」、「発電設備制御装置」の3つの製品を中心に、製品の開発・販売に注力していく。

現在でも、東伸電機では顧客から寄せられるさまざまな細かいニーズを営業担当者を務める各技術者が、本社工場へと持ち帰り、顧客ニーズをもとに、他の技術者仲間とともにグループで製品化を目指す。創業時から研究開発に積極的に取り組む姿勢は変わっていない。そうした姿勢を継続して持ち続けられる限り、東伸電機は、現場でしか判らない顧客のかかえる細かな悩みを技術力で解決し、新たな汎用製品として世の中に送り出すことで、広く社会貢献に取り組む企業であり続けるだろう。



油圧シャッター制御盤



油圧駆動型換気口用シャッター

容易に持ち運びができるトランク一体型の発電機遠隔監視装置



タッチパネルを使用した表示画面